

基礎作業学実習 1 にて刺しゅう（刺し子）に取り組みました（2024.10）

2024年10月11日

「人は作業をすることで元気になれる」—日本作業療法士協会—

対象者が元気になるよう、作業療法士はいろいろな作業活動を利用します。
その作業活動として「手工芸（趣味）」活動の刺しゅうに取り組みました。

課題は、刺しゅうの1つである「刺し子」で

ハンカチサイズの布に模様を縫い付けるものです。

刺しゅうが初体験の学生でも、自分に合った模様の作品を完成させます。
高齢女性にはなじみのある活動で、作業療法では手指の運動改善や作業の
耐久性向上を目的に用いられます。



初体験でも頑張っています



指を突かないように気をつけながら



しっかりと縫い付けています



もうすぐ完成です